

ひるげよう地域安全まちづくり

マモリンレポート

若い力を地域安全まちづくり活動へ

ポーアイ・セーフティタウン・コミュニティ(神戸市)



橋東の安全安心のために

飾磨防犯協会 橋東支部(姫路市)



凶悪化する住宅強盗に警戒! ～命と財産を守るために～

【窓】

- ★補助錠の取り付け
- ★シャッターの取り付け
- ★防犯性能の高い建物部品(防犯ガラスやウィンドウフィルムなど)の活用

【玄関・出入口】

- ★確実な施錠と補助錠の取り付け
- ★防犯性能の高い建物部品(ドアや鍵など)の活用
- ★死角の排除

ツーロック+ドアロック!

CHECK!

この家は
やめよう...

【塀・垣根】

- ★整理整頓、こまめな手入れ
犯人が隠れる場所をなくす!

防犯ポイント～「目」「光」「音」「時間」による対策を

- **防犯機器などの活用**
・防犯カメラ ・センサーライト ・防犯砂利 ・防犯フィルム
・窓シャッター など
- **侵入口の強化～「防犯性能の高い建物部品」の活用**
※ 「防犯性能の高い建物部品とは」
「侵入までに5分以上の時間を要する」など一定の防犯性能があると評価された建物部品(防犯建物部品)であり、共通標準は「CPマーク」です。
- **訪問者の対応**
・インターフォン、ドアスコープ、ドアロックなどを活用して、不用意にドアを開けない。

- 犯人は連帯感のある地域を嫌うと言われているので、挨拶や声掛けなどによる「攻める防犯」を行いましょう。
- 犯人は下見を行うことが多いので、挙動・外見・態度などに違和感を感じる者を見たら警察に通報してください。

発行：ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県県民生活部くらし安全課内

電話(078)362-3173 FAX(078)362-4465

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。

(このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県遊技業協同組合の支援を得て作成しました。)



マモリン



若い力を地域安全 まちづくり活動へ

Report. 1

～ポーアイ・セーフティタウン・コミュニティ～

若い力を地域のために

当グループは、神戸学院大学、兵庫医科大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学の学生であれば誰もが参加でき、現在は7名で活動を行っています。

高校生の時にボランティア部にいた学生を中心に、引き続き地域に貢献したいという思いや、地域の安全安心を守りたいという思いで活動に参加しています。

管轄の神戸水上警察署をメインの協力先として活動を行っており、グループの代表学生は神戸水上警察署協議会の委員を務めています。毎年、学生自身が自分たちでやりたい防犯活動等を考える自主企画を行っています。昨年度は、誰もが参加しやすい活動をテーマに考え、犯罪被害者週間に合わせ神戸学院大学内で※ホンデリングを実施し、1週間で100冊を集めることができました。また、今年度は神戸水上警察署主催のイベントに出演し、特殊詐欺の被害防止に効果があるとされている「自動録音機能付電話機の啓発」をテーマに、テレホンショッピング風の寸劇を実施しました。自分たちで台本を考え、内容に事実誤認等がないかを警察の方に確認しながら、作り上げました。これからも、地域のために若い力を活かしながら柔軟な防犯活動に取り組んでいきたいと思ひます。

※ホンデリング……寄贈された本の売却代金を犯罪被害に遭われた方々への支援活動に役立てるプロジェクト



警察と連携した防犯活動の展開



活動地域であるポートアイランドは、島外に仕事へ行く人が多く、日中の住民人口は減少します。児童の通学路は、大きな道路を大型トラックなどが多数通行することから、警察や地域の防犯グループと連携し、下校時の見守りを行っています。

学校から家が近い児童と遠い児童の差が極端ですが、授業の合間を利用したり、場合によっては大学の授業がない日でも児童の家の前まで一緒に下校するなど、日々子どもたちの安全を守っています。

また、当グループはサイバー防犯ボランティアに登録しており、サイバー犯罪対策へのボランティア活動も行っています。

毎年出演しているサイバー防犯キャンペーンでは、寸劇をはじめ、サイバー犯罪や対策に関する〇×クイズなどを実施し、啓発に努めています。この他にも、警察などの関係機関と連携し、特殊詐欺被害防止キャンペーンや交通安全運動などに積極的に参加しています。

グループの紹介

2013年結成の学生ボランティア団体。安全安心なまちづくりを大学生の視点で考え、企画し、地域と協力してボランティア活動を行っています。

このような活動が評価され、「令和5年度地域安全まちづくり活動賞」を受賞しました。



橋東の安全安心のために

Report. 2

～飾磨防犯協会 橋東支部～

子どもの安全は地域で守る



飾磨防犯協会橋東支部は、現在55名で活動しています。地域の小学校は児童数が多い中、通学路には主要幹線道路が通っており、交通量が多く、目が届きにくい危険な箇所もあります。そんな地域の子どもの安全を守るため、登下校時には、小学校付近や主要交差点等において、指定の緑色のベストや帽子を着用し、立ち番を実施しています。下校の時間帯と夜間には青色パトロールカーでの見守り活動も実施しています。

青色パトロールカーでの1回のパトロール時間は、約1.5時間、距離は約20kmを走行しています。パトロールでは、公園など子ども等が多数集まる場所を中心にパトロールを実施し、たむろしている少年たちがいれば帰宅を促すなど、適宜声掛けも行っています。

また、橋東地区は地域企業と協力して、年間5～6台の防犯カメラを子どもが多数集まる公園や、交通量の多い場所等に設置するなど、防犯環境の整備にも積極的に取り組んでいます。

今後も各委員が一致団結して、各種団体と協働した防犯パトロールや見守り活動を実施し、子どもや地域の安全を守っていききたいと思ひます。

各機関と連携した特殊詐欺被害防止対策

犯罪発生実態に応じた活動として、年金支給日には金融機関と協力し、啓発チラシの配付や、利用者への呼びかけを行っています。

また、管轄の飾磨警察署と連携し、大型商業施設やスーパーの前で、啓発ティッシュを配付するなどのキャンペーン活動を実施しています。特殊詐欺のアポ電発生時には、青色パトロールカーで啓発音声を流しながら、地域をパトロールします。

地域独自の広報紙も作成し、自治会の会議で配布したり、地域で回覧するなど、防犯情報の共有や浸透も図っています。

今後も、少しでも特殊詐欺被害が減るように、警察などと協力して、特殊詐欺被害防止対策に取り組んでいきます。



グループの紹介

橋東支部では、各会員が一致協力して、各種団体と協働した防犯パトロールを実施するなど、地域ぐるみの活動が実施されています。

このような活動が評価され、「令和5年度地域安全まちづくり活動賞」を受賞しました。

